

保育所、認定こども園の社会的な役割とその取り組み

公立園としての役割とは？



令和元年度10月10日
幼保連携型こども園 明照保育園 園長 中島 章裕

1

公立園としての役割

地域の子育ち・子育てニーズに即した
公共サービスとしての実践
行政機関としてのネットワークを生かした
関係機関との連携強化
とくに配慮を必要とする子どもの保育の充実
保育士等の資質・専門性の向上
地域住民との協働、子育て文化の創造
公立保育所等の果たす役割の重要性、必要性のPR

2

公立園をめぐるこれまでの動き

平成10年4月 児童福祉法の改正により、保護者が保育所を選択して利用できる「措置制度」から「市町村と保護者の契約方式」へ
平成11年4月 保育所定員の弾力化
平成12年3月 保育所への株式会社等の参入及び
公立園の民間への運営委託の推進
平成16年4月 公立保育園の運営費一般財源化
→公立園の民営化や統廃合
→保育士の非正規化
→整備費や保育材料費等の経費の削減
子どもや保護者の保育ニーズに応えようと思っても
運営・体制面で厳しい環境に置かれている

3

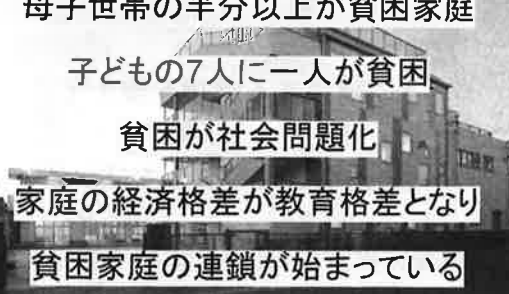
今後の少子化を見すえて

待機児童問題が社会問題化
待機児童対策は、長年規制緩和の歴史
車メーカーは、安全基準を競い合っている
何故か？→命の問題だから
子どもたちの未来は日本の未来
園長先生のスイカ割りです！

4

現在の日本の家庭環境や子育て環境は？


母子世帯の半分以上が貧困家庭
子どもの7人に一人が貧困
貧困が社会問題化
家庭の経済格差が教育格差となり
貧困家庭の連鎖が始まっている



5

現在の日本の家庭環境や子育て環境は？

貧困だけではない子育て家庭の現状
子育てで孤独を感じる母親は7割
「産後うつ」は、一般的なうつの5倍以上



6